



2014年 第3問

葉佳!

数理  
石井K

3  $n$ 枚のカードに1から  $n$ までの自然数がひとつずつ書かれている。異なるカードには異なる数が書かれている。これら  $n$ 枚のカードを横一列に並べて、左端から  $i$ 番目 ( $1 \leq i \leq n$ )のカードに書かれた数を  $a_i$ とする。

- (1)  $n=5$ のとき、 $a_1 < a_2 < a_3$ かつ  $a_3 > a_4 > a_5$ を満たすカードの並べ方の総数を求めよ。  
 (2)  $n \geq 3$ とする。次の条件(i), (ii)を満たすカードの並べ方の総数を  $n$ の式で表せ。ただし、(ii)では、 $k=2$ のとき  $a_1 < a_2 < \dots < a_k$ は  $a_1 < a_2$ を表し、 $k=n-1$ のとき  $a_k > a_{k+1} > \dots > a_n$ は  $a_{n-1} > a_n$ を表す。

(i)  $1 < k < n$

(ii)  $a_1 < a_2 < \dots < a_k$ かつ  $a_k > a_{k+1} > \dots > a_n$

- (3)  $n \geq 4$ とする。次の条件(i), (ii), (iii)を満たすカードの並べ方の総数を  $n$ の式で表せ。ただし、(iii)のそれぞれの不等式は(2)と同様に、 $p=2$ のとき  $a_1 > a_2$ を表し、 $q=p+1$ のとき  $a_p < a_{p+1}$ を表し、 $q=n-1$ のとき  $a_{n-1} > a_n$ を表す。

(i)  $1 < p < q < n$

(ii)  $a_1 = n$ かつ  $a_p = 1$

(iii)  $a_1 > a_2 > \dots > a_p$ かつ  $a_p < a_{p+1} < \dots < a_q$ かつ  $a_q > a_{q+1} > \dots > a_n$

(3) のつぎ

$$= \frac{3^{n-2} - 2^{n-1} + 1}{2}$$

2

//

(1)  $a_3 = n$ , 残り4枚から2枚を選んで、条件を満たすように  $\{a_1, a_2\}$ とし、

$$\text{並べ方} = \text{とが} \text{決まる} \quad \therefore 4C_2 = \underline{6 \text{通り}}$$

(2) (1)と同様にして、 $a_k = n$ , 残りの  $n-1$ 枚から  $k-1$ 枚をえらべば自動的に並びが決まるから、各  $k$ に対して、 $n-1C_{k-1}$ 通りある。

$$\therefore \sum_{k=2}^{n-1} n-1C_{k-1} = \sum_{k=1}^{n-2} n-1C_k = \left( \sum_{k=0}^{n-1} n-1C_k \right) - 2$$

二項定理

$$= \underline{2^{n-1} - 2 \text{通り}}$$

(3)  $a_2 \sim a_{p-1}$ の決め方が  $n-2C_{p-2}$ 通り。  $a_{p+1} \sim a_{q-1}$ ,  $a_{q+1} \sim a_n$ の決め方は

$$n-p-1C_{q-p+1} \text{通りある。} \quad \therefore \text{各 } p \text{ に対して、} \quad \sum_{q=p+1}^{n-1} n-2C_{p-2} \times n-p-1C_{q-p+1}$$

$$= n-2C_{p-2} \sum_{q=p+1}^{n-1} n-p-1C_{q-p+1} = n-2C_{p-2} (2^{n-p-1} - 1) \text{通り。}$$

$$\therefore \sum_{p=2}^{n-2} n-2C_{p-2} \cdot (2^{n-p-1} - 1) = \frac{1}{2} \sum_{p=2}^{n-2} n-2C_{p-2} \cdot 2^{n-p} - \sum_{p=2}^{n-2} n-2C_{p-2}$$

$$= \frac{1}{2} \left\{ (2+1)^{n-2} - 2 \cdot (n-2) - 1 \right\} - \left\{ 2^{n-2} - (n-2) - 1 \right\}$$